

< 地場産農産物の加工・販売を実施している事例 >

販路拡大に向けた直売・加工施設による取組を目指して

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	長崎県諫早市 ^{たらみちよう} 多良見町 ^{いきりき} 伊木力・元釜 ^{もとがま}			
協定面積 361ha	田(2%) 水稻、野菜	畑(98%) 柑橘	草地	採草放牧地
交付金額 4,244万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	農道・水路管理費		6%
		鳥獣害防止対策		5%
		共同防除費		25%
	その他		14%	
協定参加者	農業者203人			

2. 取組に至る経緯

当集落は、農業生産条件が平地に比べて厳しい急傾斜地で、基幹作物であるみかんを生産しているが、農業者の高齢化・担い手不足により耕作放棄地が増加し、多面的機能が低下している。

このため、耕作放棄地発生を防止し、現状の農業生産活動を維持していくため、集落が一団となって本事業に取り組むこととした。

3. 取組の内容

前期対策から本制度に取り組んでいるため、協定者の協力体制は整っており、水路・農道の維持管理や補修及び農地の保全への取り組みは順調である。

そのほか、みかんの品質向上のため、集落による一斉共同防除や、多発するイノシシ被害対策として、鳥獣害防止柵等の設置を行っている。

みかん販売は、農協・市場が主な出荷先であったが女性を中心に組織された直売所・加工グループへ出荷し、安定した供給体制を整えている。



【加工所】

・このみ会

【直売所】

・からたち会



【鳥獣害対策】

・防護ネット、電気柵の設置

[集落の将来像]

当集落では、基幹作物であるみかんの生産を行っているが、近年の消費の減退、消費者ニーズの高品質志向及び輸入自由化等による価格の低迷もあり、農業所得が伸び悩み、農家の生産意欲の減退とともに後継者不足、農業者の高齢化による耕作放棄地の発生が懸念されている。

今後は、柑橘の優良系統への更新、品種構成の改善及び施設化等による高品質果実の安定生産対策を推進するとともに、省力化を推進し産地の体質強化を図る。

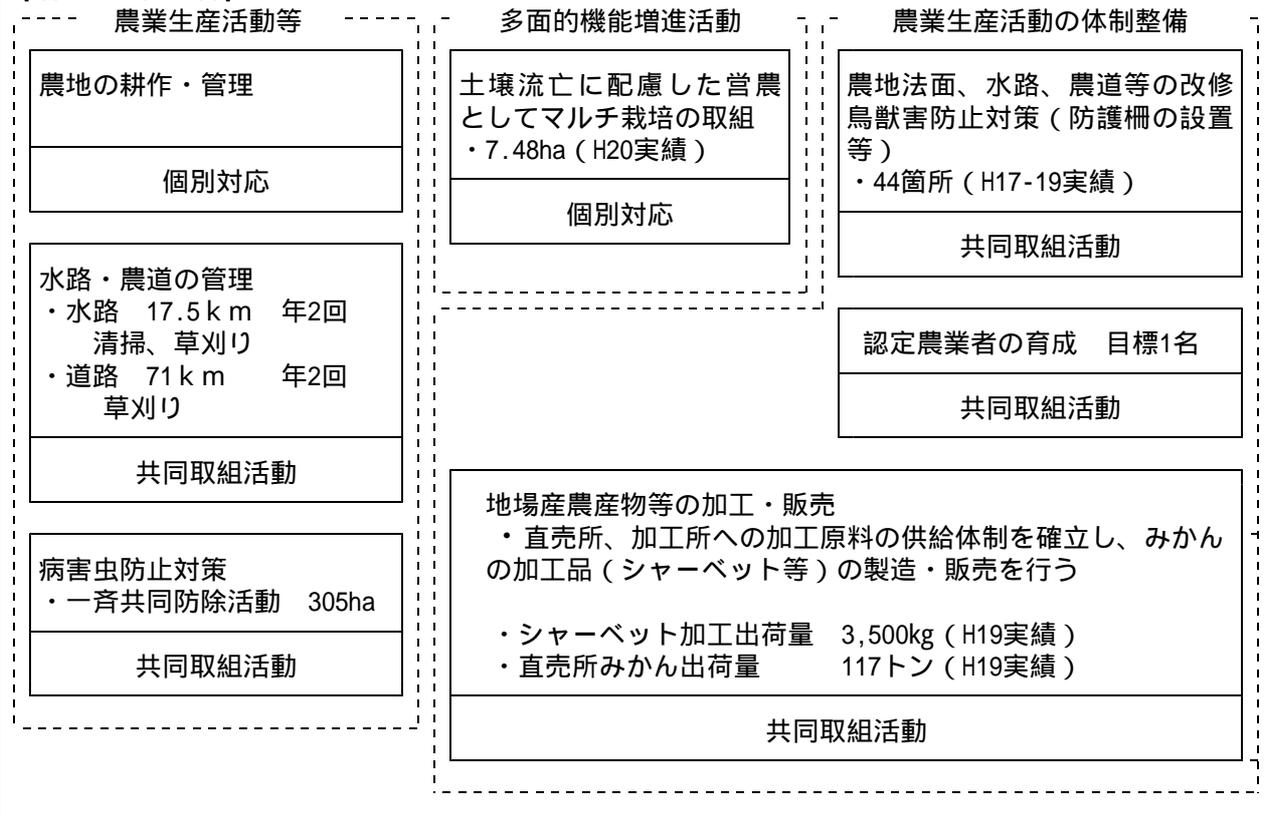


[将来像を実現するための活動目標]

認定農業者の育成（目標：1名以上の新規認定農業者の確保）

みかんの付加価値を高めるための加工・販売を行う。

[活 動 内 容]



4. 取組による変化と今後の課題等

共同活動を通じて、集落で産地を守っていこうとする意識が高まっている。

今後は、マスタープランを達成させるため、維持管理活動（補修・改良）や鳥獣害防止対策を実践する。

また、直売所等との連携については、安定した供給体制を確立させることで安価で新鮮なみかん、加工品の販売及び販路拡大による農家の収入及び産地の宣伝効果等でさらなる集落の地域活性化を図る。

[平成20年度までの主な成果]

病虫害防除対策（電撃殺虫器の設置 20箇所（H19）、イノシン捕獲籠設置 30箇所（H19））

鳥獣害防止対策（防護ネットの設置 8.6km, 86ha（H19）、電気柵の設置 7.9km, 11.6ha（H20））

高品質果実の安定生産（先進地視察研修の実施 愛媛県果樹試験場等10回 延べ220名参加（H18-20））

認定農業者の育成 実績1名（平成21年度末までの育成目標1名）